

報道関係各位

2021年6月16日
株式会社クロス・マーケティング

フードロス、ついやってしまうのは「野菜類」 「賞味期限の早い食品から食べる」ことを意識

－フードロスに関する調査(2021年)－

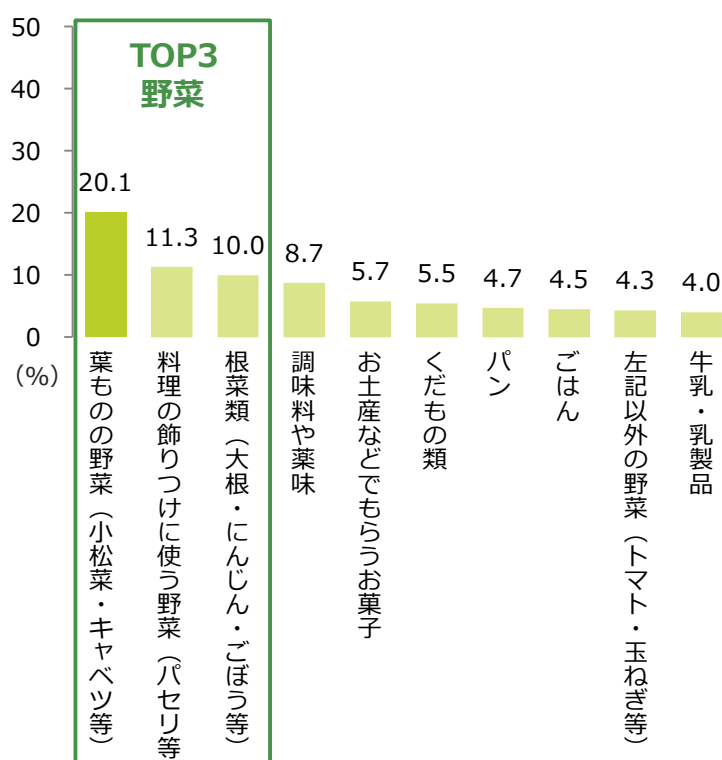
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に【フードロスに関する調査（2021年）】を実施しました。まだ食べられるものを破棄してしまう「フードロス（食品ロス）」。生活者の意識や行動はどのようになっているのでしょうか。今回はフードロスについて「心掛けていること、工夫していること」「無駄にしがちな食品」「フードロスしてしまったときの気持ち」「体験談」などを聴取しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210616foodloss/>

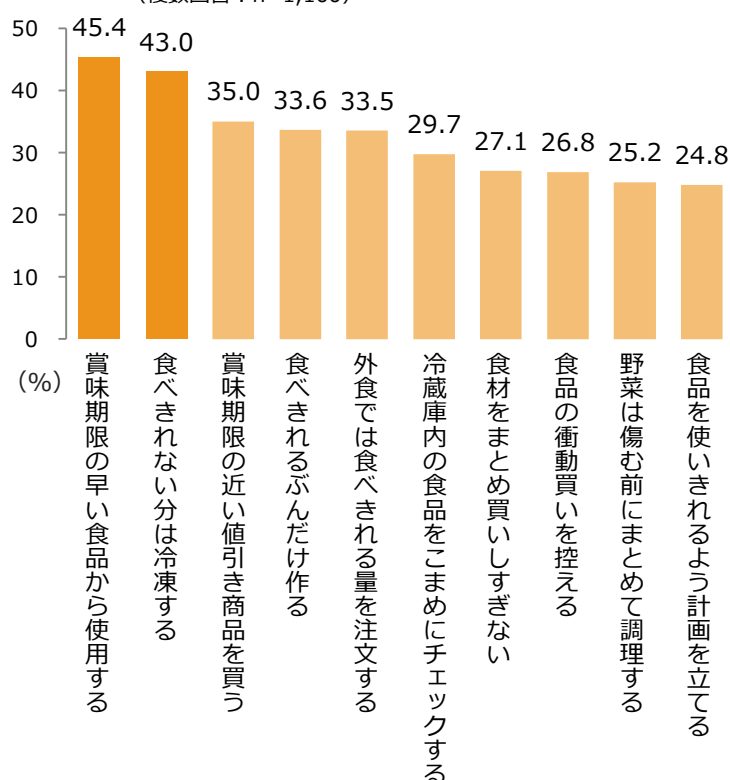
■調査結果

- ✓ 「つい無駄にしてしまう」「つい食べきれず捨ててしまう」食品では、「葉ものの野菜」が最多で20.1%。「料理の飾りつけに使う野菜」、「根菜類」と続き、TOP3を野菜類が占めている。〈図1〉
フードロスをしないための工夫では、「賞味期限の早い食品から使用する」、「食べきれない分は冷凍する」が多くあがった。〈図2〉
- ✓ フードロスをしたときは、「食品に対して申し訳ない」と「もったいないことをした」という気持ちになる人が多い。食品を捨ててしまうことに後ろめたさや申し訳なさを感じている人が多いことがうかがえる。なお、性別でみると、食品への申し訳なさやもったいなさ、罪悪感などを感じている人の割合は女性に多い。〈図3〉
- ✓ フードロスをしたときの話を聴取すると、冷蔵庫などで保管している間に賞味期限が切れてしまっていた、のちのち食べようと思っている間に腐らせてしまった、という体験談が多くみられた。外食の場面では、食べきれない量を注文して残してしまった、というエピソードもあがった。〈図4〉

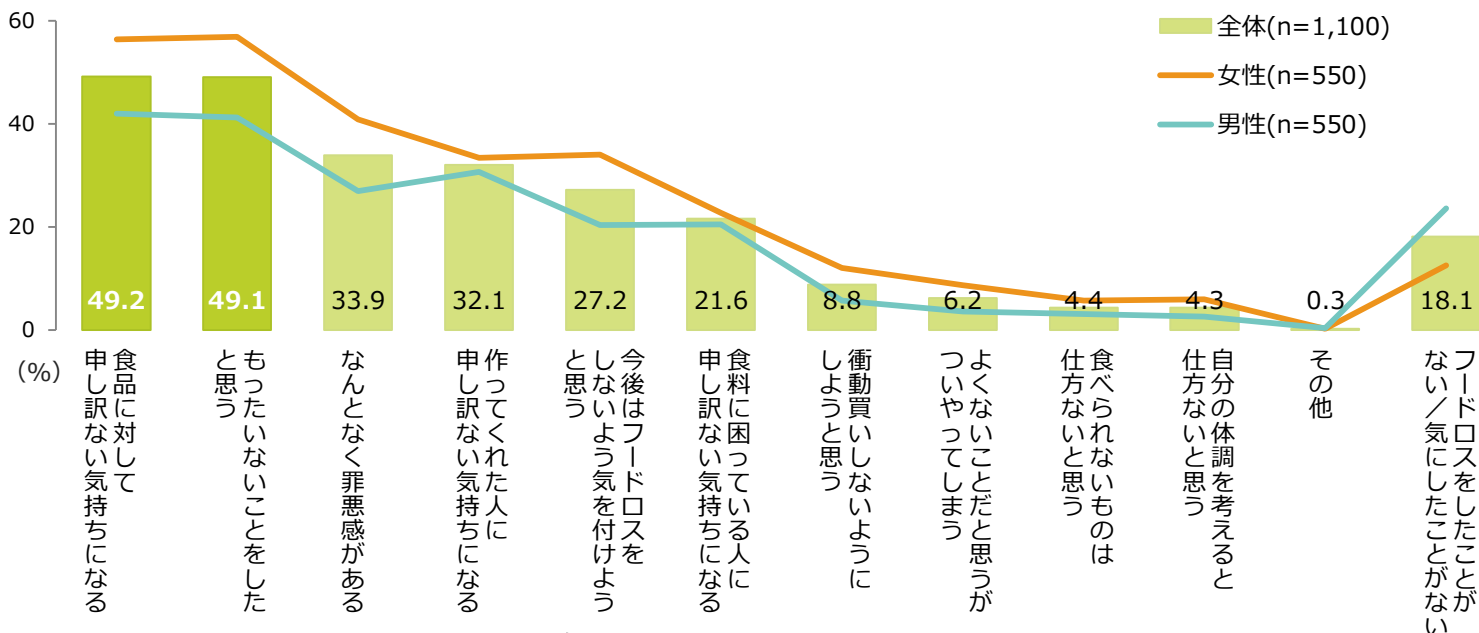
〈図1〉 「つい無駄にしてしまう」「つい食べきれず捨ててしまう」食品上位10項目（複数回答：n=1,100）



〈図2〉 フードロスをしないように心掛けていること、工夫していること上位10項目（複数回答：n=1,100）



<図3> フードロスしてしまったときの気持ち (複数回答：n=1,100)



<図4> フードロスしてしまったときの体験談 (自由回答一部抜粋) (自由記述：n=1,100)

- **ジャム**を購入したが使い切らずに期限が切れてしまっていた。**お土産品で購入した調味料等**がいつのまにか期限が切れてしまっていた。(20代女性)
- **人にもらった珍しいお菓子**をいつか落ち着いて食べようと思っていたが、ついわすれてしまいそのまま賞味期限がきれてしまった。(30代男性)
- **野菜**が使いきれずに少し残ってしまい、次回味噌汁などに使おうと思っているうちに腐ってしまい、もったいない事をしたと思う。(40代女性)
- **冷蔵庫の奥の方**にあって気づかないうちに期限が過ぎていた物を申し訳ない気持ちで捨てる。保存的なつもりで買っておい**たレトルト食品**の期限がチェックした時に切れていて仕方なく捨ててしまう(60代女性)
- レストランで**料理のボリュームを確認せずに注文し食べきれなかった**ことがあります。(60代男性)

■ 調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- フードロスをしないために心掛けていること、工夫していること
- 「つい無駄にしてしまう」「つい食べきれず捨ててしまう」食品
- フードロスしてしまったときの気持ち
- フードロスしてしまったときの体験談

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210616foodloss/>

■ 調査概要

調査手法：インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域：全国47都道府県 調査期間：2021年6月11日(金)
 調査対象：20～69歳の男女 有効回答数：本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立：2003年4月1日
 代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容：マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275
 E-mail：pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」